

■ 報告事項

(1) 令和4年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

1 令和4年度 事業計画

【基本方針】

昨年は新型コロナウイルス感染症にかかわる断続的な緊急事態宣言の発令を受け、県境を跨ぐ移動の自粛が呼びかけられたことなどから、本格的な観光需要の回復は見られず、一年を通して非常に厳しい状況が続きました。その中で当協会は比叡山延暦寺を中心に開催された「伝教大師最澄 1200 年大遠忌」と「元亀の法難 450 年」の関連した様々な事業を中心に、観光庁の実証事業として比叡山の朝・昼・夜観光による新たなコンテンツの開発を行うと共に、季節毎の特色を活かしたライトアップなどのイベントやバスツアーの造成販売を行うなど誘客促進に取り組みました。また、3月に開催したびわ湖開きにおいては3年ぶりに市民の参加やミシガン1日船長も復活し、湖国への春の訪れと観光シーズンの幕開けを全国へ広くPR致しました。

令和4年度は、引き続き厳しい状況からのスタートとなりますが、協会として昨年より開始した春から初夏に掛けての誘客キャンペーン「びわ湖の桜とあお若葉（もみじ）」の実施や、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」にかかわる木曾義仲、源頼朝ゆかりの地や直木賞を受賞した「塞王の楯」の舞台である大津城など、世間から注目される機会を捉えた情報発信による誘客を図ります。あわせてテレワークの普及やソーシャルディスタンスへの意識の高まりを背景に、自然に囲まれたびわ湖大津ならではのロケーションがマーケットで注目される存在となる中で、ワーケーションやブレッジャーなどの「新たな旅のスタイル」や地球環境の変革を目指すカーボンニュートラル、そしてSDGsを軸としたサステナブルな観光に適応した受入体制の整備を図ります。

琵琶湖と比良比叡の山々に囲まれた自然豊かな環境と歴史を活かす事により、引き続きびわ湖大津へ訪れるお客様に、より一層の安心・安全な楽しい旅の提供を行うと共に、この地域資源を活用した観光の取組から得られる経済的、社会的な利益が、地域資源の保全や地域へ還元される持続可能な観光まちづくりの推進を図ります。

【公益目的事業】

1. 観光宣伝事業

大津市への誘客を図るため、来訪者に合わせた効果的なプロモーションの展開や機会を捉えた情報発信を行う。

(1) 令和4年度観光テーマ誘客事業（自主）※新規

びわ湖をはじめとした四季折々の自然や悠久の歴史に育まれたまち「びわ湖大津」のイメージ向上を図るテーマを設定し、情報発信を通してびわ湖大津への誘客促進を図る。

- ①ビジュアルイメージの作成（ロゴ、ポスター、ホームページ）
- ②観光キャンペーンやキャラバンの展開

(2) 多様化する観光ニーズに則した誘客事業（委託・自主）

ターゲットの嗜好を明確にし、機会を捉えた的確な情報発信を行いびわ湖大津の認知度向上及び誘客促進を図る。

- ①四季折々の大津の話題に対応した情報発信
- ②大河ドラマ放映や直木賞受賞作「塞王の楯」等を活用した情報発信による誘客
「鎌倉殿の13人」（令和4年度）、「どうする家康」（令和5年度）

(3) 歴史的文化財を活用した誘客事業（補助・自主）

湖信会社寺の歴史文化と自然に囲まれたロケーションを活用し、各社寺における特別公開やご朱印の対応を行う。また、滞在型周遊を促進するため県内他市町と広域で連携し事業を実施する。

- ①びわ湖の桜とあお若葉（もみじ）誘客キャンペーン
桜の季節から初夏にかけての期間の内、特にGW以降の閑散期対策
- ②秋の紅葉と比叡山延暦寺の特別公開や岩間寺開山1300年記念事業など秋の多客期における誘客促進

(4) 観光宣伝物作成事業（補助・自主）

季節毎に大津観光の楽しみ方を紹介するパンフレットの作成と合わせて、連動したWEBサイトの公開やSNSの活用により、旅の提案を広く発信する。

- WEB・SNSと連動した季刊情報誌の作成
発行日：令和4年6月・9月・12月・3月 計4回

(5) 観光情報ネットワーク事業（委託・自主）

観光ホームページ「びわ湖大津トラベルガイド」を活用した情報発信をはじめ、ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなど各SNSの特性を活かした情報発信を強化し誘客促進を図る。

(6) びわ湖大津観光大使事業（補助）

「びわ湖大津」の観光宣伝の一翼を担うびわ湖大津観光大使を選任し、市内での観光イベントや市内外での観光キャンペーン、SNS等を通じて、大津の魅力を広く発信する。

(7) 第68回びわ湖開き事業（自主）

湖国滋賀に春の到来と湖上観光の幕開けを告げ、びわ湖に訪れる観光客の安全を祈念すると共に、水の恵みに感謝し、びわ湖の環境保全を呼びかける。

開催日 令和5年3月4日（土）（予定）

場所 大津港、外輪船ミシガン等

2. 観光客受入整備事業

大津市への来訪者に向けて魅力あるコンテンツと安全な受入体制を整備し、滞在時間拡大による観光消費額拡大や満足度の向上を図る。

(1) ライトアップ事業（補助）※

夜間観光の促進による宿泊滞在型観光の推進を図るため、大津の豊かな自然や歴史ある建造物をライトアップする。

①びわ湖大津春のライトアップ 桜の琵琶湖疏水

期間 令和4年3月25日（金）～4月10日（日）

場所 琵琶湖疏水、大津市歴史博物館周辺

②近江神宮ライトアップ（全国高校かるた選手権大会）

期間 令和4年7月15日（金）～18日（月・祝）（予定）

場所 近江神宮楼門

③比叡山坂本秋のライトアップ

期間 令和4年11月5日（土）～12月4日（日）（予定）

場所 日吉大社・西教寺・旧竹林院

④市内事業者・地域と連携して新たなライトアップイベントの展開

(2) 「かるたの聖地・大津」ブランディング事業（補助）

かるたの聖地・大津の認知度向上のための取り組みとして、競技かるた・百人一首を活用した市内外での取り組みを通してブランディングを行う。また、大津ならではのサブカルチャーで誘引できるイベント開催などでの市内回遊性の促進を図る。

(3) 観光案内所運営事業（委託）

地元と連携を図りながら、石山駅観光案内所、堅田駅前観光案内所の運営を行う。

(4) サテライト観光案内所運営事業（委託）

来訪客の満足度向上のため、市内で行われるスポーツイベントや祭り等で臨時的観光案内所を開設する。また、市外のターミナル施設などにおいて、季節の観光情報の発信を行い、大津

市への誘客促進を図る。

(5) 観光ボランティアガイド活用事業（自主）

MICE・教育旅行の受入強化および来訪者の満足度向上のため、市内ボランティアガイド団体と連携して受入体制の充実を図る。

- ①研修会の開催による資質の向上
- ②ガイド人員拡充等、体制の充実

(6) びわ湖疏水船事業の活用による観光振興事業（自主）

「琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会」において京都市観光協会と共に中核を担う役割として疏水船の利用促進と安全運航の推進を図ると共に、大津港への延伸など将来的な基盤整備の検討を行う。また、京都・大津間の誘客ルートとして確立させ、インバウンド商品としての開発や大津市民への周知にも努める。

(7) びわこ花噴水運転事業

3. 教育旅行受入対策事業

大津市への教育旅行受入拡大のため、地域ならではの自然や歴史文化をテーマとしたコンテンツ造成を図るとともに、情報発信やプロモーションを進める。

(1) 教育旅行誘致促進事業（自主・補助）

びわこビジターズビューローと連携し、旅行会社へのセールスやキャラバンの実施など、効果的と考えられる手法により教育旅行の誘致促進を実施する。

(2) 情報発信事業（補助）

教育旅行パンフレット「体験旅びわ湖大津」を含む、市内観光事業者の施設をPRする印刷物を県外の教育機関及び旅行会社へ送付し、大津市の教育旅行プログラムに関する情報発信を行う。

(3) 教育旅行SDGsプログラムの造成（自主・補助） ※新規

環境先進地である滋賀県の特性を活かしたSDGs学習プログラムを造成し、教育旅行の受入体制整備を図る。また地域ボランティアガイドを活用した「環境の語り部」プログラムの活用を進める。

(4) 教育旅行企画書・タリフ作成事業（自主） ※新規

会員事業者や旅行会社が販売活動に活用できる教育旅行企画書・タリフの作成および整備を進める。

4. MICE・インバウンド対策事業

2025年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会ならびに大阪・関西万博を見据えて、国内外からさまざまな目的をもって大津を訪れる来訪者に対し、大津市やびわこビジターズビューロー等関連団体と連携し、効果的な情報発信と受入体制の整備を行う。

(1) 大津市 MICE 推進室との連携による受入整備事業（自主）

大津市が策定した「大津市 MICE 推進戦略」の実現に向けて協力・情報共有を行う。

(2) 着地型モデルプラン・コンテンツ（団体向け・個人向け）の造成（自主）

MICE のエクスカージョンにも活用できる着地型モデルプランやコンテンツの造成を図るとともに、インバウンドの復活を見据えて地域周遊型ガイドツアーの基盤整備を進める。

(3) 会員事業者の MICE・インバウンドセールス支援（自主）

国内で開催される商談会等へ参加する会員事業者セールス支援および情報発信サポートを行う。

「VISIT JAPAN トラベル& MICE マート (VJTM)」への参加

期 間 令和4年9月22日（木）～25日（日）（予定）

会 場 東京ビッグサイト

(4) 京都市認定通訳ガイド活用事業（委託）

大津市が参画する京都市認定通訳ガイドの活用と会員事業者との連携促進を図る。

(5) 外国語ボランティアガイドの活用事業（自主）

大津英語ガイドクラブ (OEGT) と連携して受入体制の充実を図る。

(6) 台南市旅行同業公會との友好協定を活用して情報交換等を行い、需要回復後における台湾市場からの誘客促進を図る。（自主）

5. 広域観光振興事業

県・市内外の各種団体と連携し、観光振興推進を図る。

(1) 滋賀県・(公社)びわこビジターズビューローとの連携事業

滋賀県およびびわこビジターズビューローが行う事業と連携して効果的な観光情報発信と誘客イベント等を実施する。

① 県主催観光誘客事業における地域情報の提供および誘客イベントの実施

シガリズム魅力向上・発信事業ならびにコンテンツ創出事業など

② 県観光情報誌等への情報提供

③ 国内旅行商品企画担当者商談会での情報提供および商談

④ 会員に向けて県が行う各種観光支援施策の周知ならびに活用促進

(2) 湖信会十社寺との連携事業（自主）

湖信会十社寺との連携により、文化財・文化的景観による観光誘客や、子どもたちや地域住民の誇りになる活動を活用して市内来訪・周遊の促進を図る。

(3) 大津市諸団体との連携事業（自主）

大津商工会議所、大津市国際親善協会、大津市公園緑地協会、比良比叡トレイル協議会など市内諸団体と連携を図り、地域における観光振興推進に取り組む。

(4) 大津志賀観光振興事業（補助）

より広範囲に大津観光の展開を図るため、びわ湖大津志賀観光振興協議会に参画し、誘客事業、誘客促進事業を図る。

(5) びわ湖大津夏まつり事業（補助）

市内各団体と連携し、「びわ湖大津ビワコイ祭り」を開催する。

(6) 地域観光振興事業（補助）

大津市内の地域観光協会や諸団体が年間を通じて実施している、観光 PR やイベント事業の活性化を通じて地域振興を図る。

(7) 市内観光事業への後援・協賛等（自主）

関係諸団体の主催する観光事業等に対し、後援・表彰等を行い、観光振興の機運醸成に努める。

6. 物産振興事業

大津市内にある歴史ある物産品や大津ならではの魅力ある特産品を、より一層の PR と販売を通じて大津の物産振興を図る。

(1) 令和4年度観光テーマ物産振興事業（自主・補助）

令和4年度の観光テーマに則した物産品について情報発信を行う。

(2) 物産プロモーション事業（自主・補助）

WEB、SNS 等での情報発信を積極的に行うとともに、市内外でのイベントや交通機関等との連携により大津の物産を PR する。

(3) 市内外開催イベントおよび物産展等への出店事業（自主・補助）

大津市内で開催される各種大会やイベントでの出店を通して、来訪客の満足度向上を図る。また、滋賀県やびわこビズターズビューロー、そして大津市や大津商工会議所などの関係団体と連携するなかで、市外プロモーションとして商業施設等での物産展等へ出店する。

【収益事業】

- (1) 物販事業（観光名刺台紙、観光キャラクター関連商品等）
- (2) チケット販売事業
- (3) 市内開催イベント等での物販斡旋事業
- (4) 地域限定旅行業による旅行業事業
 - ①ぐっと大津まちなかこだわりツアーの実施（市民を対象とした地元再発見ツアー）
 - ②市外からの来訪者を対象とした募集型企画旅行の造成・販売
 - ③全国高校かるた選手権大会等の着型イベント受入および教育旅行受入事業

【会議】

- 1. 通常総会
- 2. 理事会
- 3. 専門部会（総括部会、総務部会、観光宣伝・誘客部会、MICE インバウンド部会、教育旅行部会、物産振興部会）
- 4. 地域観光協会連絡会議（地域観光協会懇話会）